

回胴遊商 中部・北陸支部が中部遊技機商業協同組合と合同で実施した環境保全活動について

回胴遊商 中部・北陸支部は、地域に密着した環境保全活動として、平成21年度から行っている千鳥ヶ浜の海岸清掃を、今年は中部遊技機商業協同組合と合同で行うこととなりました。

加えて、今回初めて両団体が合同で海岸清掃を実施する記念として、内海観光協会へゴミ箱を贈呈することが決定しました。

7月16日(水)に千鳥ヶ浜近くのホテルにおいて、回胴遊商 中部・北陸支部の組合員等72名及び中部遊技機商業協同組合の林理事長と役員3名、内海観光協会から鈴木副会長が出席してゴミ箱の贈呈式を行いました。

贈呈式の冒頭に安藤常務理事が「回胴遊商は5年ほど前から地域に根差した環境保全活動を行っており、当支部においては、当初から継続して千鳥ヶ浜の海岸清掃を実施してきました。本年、回胴遊商は創立20周年という大きな節目を迎えたことから、一步踏み出して更に充実した環境保全活動とするために、中部遊商の皆様にご賛同いただき、今回は合同で海岸清掃を実施する運びとなりました。もう一点、合同で環境保全活動を行う上で、記念として連名で内海観光協会へゴミ箱を贈呈することが決定し、贈呈式を開催することと相成りました。今回の20周年の節目の年に回胴遊商 中部・北陸支部が踏み出した小さな一歩が、今後遊技業界全体を巻き込んだ大きな一歩となり、皆が団結してこの厳しい難局を乗り越える力を生み出すきっかけとなればと考えております。今後とも、ご協力くださるようお願い申し上げます。」との挨拶が行われました。

続いて、中部遊技機商業協同組合の林理事長から「今回、回胴遊商の安藤常務理事から中部・北陸支部が毎年行っている千鳥ヶ浜の海岸清掃を一緒にやりましょう！とお誘いをいただき、是非とも賛同させていただきました。また今回、両団体で海岸清掃を行う記念ということで、内海観光協会へゴミ箱を贈呈するというので、本日の贈呈式を迎えることができ、大変うれしく思います。回胴遊商 中部・北陸支部が行ってきた清掃活動が今年で6年目ということで、今後は両団体が手を取り合って地域社会に貢献できることの一つとして、環境保全活動を積極的に行っていきます。今回の両団体で行う環境保全活動は小さな一歩かもしれませんが、しかし、小さなことをコツコツ積み重ねていき、振り返っ

てみると大きな一歩になっていることを願って、私からのご挨拶とさせていただきます。」
とのお言葉がありました。

その後、回胴遊商 中部・北陸支部の木原支部長と中部遊商の林理事長から内海観光協会
の鈴木副会長へ、それぞれゴミ箱の目録が手渡され、内海観光協会の鈴木副会長からは「こ
の度は大変立派なゴミ箱を寄贈していただき、誠にありがとうございました。また、毎年
回胴遊商 中部・北陸支部の大勢の参加者が海岸清掃を行っていただき、お陰様で綺麗な海
水浴場となっております。明日また、二つの団体からボランティアで多数ご参加いただき
海岸清掃していただけるということですが、暑さ対策を十分にして、事故なく行っていた
だければと思います。本日は誠にありがとうございました。」と、お礼の言葉が述べられま
した。

翌日17日(木)は回胴遊商 中部・北陸支部と中部遊商が合同で海岸清掃を行い、両団体
から総勢67名が参加しました。当日は雲一つない晴天の下、参加者は汗を流しながら3
0分かけて千鳥ヶ浜全域のゴミ拾いを行いました。



贈呈式で挨拶する回胴遊商 安藤常務理事(中央)



贈呈式で挨拶する中部遊商 林理事長



目録贈呈時の中部遊商 林理事長(左)と回胴遊商 木原支部長(中央)、内海観光協会 鈴木副会長(右)



贈呈したゴミ箱と共に、ボランティアで参加した両団体の皆さんが記念撮影を行いました。



この日の千鳥ヶ浜の最高気温は 32.1℃で、猛暑の中、海岸清掃を行いました。



雲一つない晴天の下、両団体が協力して海岸清掃を行いました。